

選挙人名簿 (投票の資格)

選挙で投票するためには、「選挙人名簿」に登録されている必要があります。選挙人名簿は、各自治体の住民基本台帳(住民票)に基づいて作成しています。選挙人名簿に登録されるためには、①満18歳以上の日本国民であること②住民票が作成された日から引き続き3カ月以上、同一市町村の住民基本台帳に記録されていることが必要です。一度選挙人名簿に登録されると、他の自治体へ転出して4カ月以上経過するか死亡するまで抹消されることはありません。

選挙人名簿の登録は毎年3月、6月、9月、12月の1日と選挙の公(告)示日の前日に行います。現在本市に住んでいる人でも住民登録していない場合は、本市の選挙人名簿に登録されませんので、本市が執行する選挙では投票できません。引っ越しなどで住所を移した場合は、14日以内に市役所へ転出・転入の届け出を行きましょう。本市の選挙人名簿に登録されている人が投票できる選挙は次のとおりです。

- ① 衆議院議員総選挙(小選挙区選挙(長崎県第3区または第4区)、比例代表選挙(九州ブロック))
 - ② 参議院議員通常選挙(選挙区選挙(長崎県選挙区)、比例代表選挙(全国))
 - ③ 長崎県知事選挙
 - ④ 長崎県議会議員選挙(佐世保市・北松浦郡選挙区)
 - ⑤ 佐世保市長選挙
 - ⑥ 佐世保市議会議員選挙
- ※③④は本市の選挙人名簿に登録されていても、投票時に長崎県外へ転出した人は投票できません。
 ※⑤⑥は本市の選挙人名簿に登録されていても、投票時に市外へ転出した人は投票できません。

☎選挙管理委員会事務局 ☎24-1111

させば市政だより

テレビ NBC 土曜 9:25 ~ 9:30、KTN 土曜 11:45 ~ 11:50
 NCC 土曜 16:25 ~ 16:30、NIB 日曜 6:30 ~ 6:35
 ラジオ FM長崎 火曜 9:05 ~ 9:10
 FMさせば 金曜 13:00 ~ 13:55、土・日曜 10:00 ~ 10:55(再放送)、月曜 21:00 ~ 21:55(再放送)
 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

柚木アムスメロン



「柚木アムスメロン」はハウストマトの栽培農家が複合経営の一環として、栽培に取り組み始めたことが始まりです。柚木地区で丹精込めて作られた柚木アムスメロンは、主に6月ごろから市内を中心に出荷されています。

アムスメロンはネット系の青肉メロンで、濃い緑色の縦ライン(条溝)が果皮に入っており、他のメロンと見分けが付きやすいのが特長です。糖度は15度以上で、等級も生産者自ら厳しくチェックし、新鮮なものを市場へ出荷されています。

栽培においては、市北部の中山間地域に位置した自然豊かな柚木地区の風土を生かしながら、減農薬栽培や「みつばち交配」による自然受粉に取り組みされており、糖度の高いメロンとして市場で高い評価を受けています。

熟したアムスメロンは、芳醇な甘い香りで甘味があり、果汁も豊富です。皮の近くまで果肉が柔らかくなるため、食べられる部分が多いのも特長で、味に優れ、比較的日持ちも良く品質が安定しています。出荷されてから常温で1~2週間後ぐらいが最適な食べ頃で、冷蔵庫で冷やして食べるのがおすすめです。

主な販売場所 柚木よかもん市 ☎46-2515

☎JAながさき西海農業協同組合 させば北部中央資材センター ☎49-2966

人の動き (5月1日 現在)

- 総人口 241,623人(前月比+672人)
 男性 114,694人(+563人)、女性 126,929人(+109人)
- 世帯数 104,850世帯(前月比+358世帯)
- 4月中の動き
 転入 1,665人、転出 863人、出生 146人、死亡 276人



市長日記 絶景「九十九島観光公園」の「楽しい」「おいしい」はこれから



「うわー」「すごー」「きれー」。「九十九島観光公園」の「眺望の丘」に立った瞬間、誰もが感嘆の声を上げられます。九十九島観光公園は、障害者支援施設「にじいろ」(旧称「つくも苑」)が大潟町に移転した際に、長崎県から無償で用地を貸与していただき、依ヶ浦半島の地域振興を図ることを目的として、長崎県の支援を受けながら本市が開発を進めてきました。そして、3月28日(日)、公園の一部が完成したことから、部分的に供用を開始しました。九十九島観光公園から見る九十九島の景観は、弓張岳展望台や船越展望所、石岳展望台、展海峰などと比べても勝るとも劣らず、大パノラマを眼下に見渡すことができ、まさに絶景です。本市の宝であり、誇りである「九十九島」を市民の皆さんだけでなく、観光客の皆さんにも十分に感じてもらいたいと思います。さて、観光発展の要因は、「美しい」「楽しい」「おいしい」

の「3つのしい」と言われています。九十九島観光公園の絶景は、「美しい」と誰もが認めるでしょう。しかし、「楽しい」や「おいしい」はこれからです。今後、官民連携などの手法を検討し、民間事業者の企画力、運営力、資金力を活用しながら、観光を軸として、民泊や地産農水産物の消費拡大、地元雇用、移住などについても検討を深め、さらなる地域振興を図っていききたいと思います。

これから事業者の公募を行い、次のステップに進んでいきますが、市民の皆さんのアイデアやアドバイスなどもいただきたいと思っていますので、ご指導とご支援をよろしくお願いします。

九十九島観光公園には広々とした駐車場もありますので、九十九島の絶景を堪能した後は、車を置いて「依ヶ浦半島トレイル」(4つのコースがあります)やハイキングを楽しんでみませんか。おすすめですよ。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 111

聞いて「徳」する話 72

何気ないしぐさや行動にも思いやりを

車の運転中によく対向車と道を譲り合う場面に遭遇することがあります。そんな時、対向車を運転する人が「お先にどうぞ」という意味で挙げた手をせわしく動かされることがありますが、私は何だか急がされているように感じてしまいます。

ある時、対向車の男性が手のひらを上に向け、ゆっくりと横に動かし、道を譲ってくれたことがありました。そのしぐさからは、「お先にどうぞ」という気持ちとともに、優しさも伝わってきました。

相手のことを思いやる気持ちがあっても、何気ないしぐさや行動によって伝わらないことがあります。1つ1つのしぐさや行動にも、気を付けて振る舞いたいものです。

☎佐世保徳育推進会議

☎23・2856

(「聞いて徳する話」を随時募集しています。応募方法など詳しくはお尋ねください)

(匿名希望)